

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 25 年 3 月 22 日作成

事務事業名	『H24新規』市議会議員選挙執行事業			所属部局	総務部	単位番号	2012- 900019
	□ 実施計画事業			所属課室	総務課	課長名	中込 修
基本政策	I	情報と連携の都市づくり		所属担当	総務選挙担当	担当者名	澤口政彦
	03	市民参加システムの構築		事業区分	□ 国の制度による義務的事業 □ 施設等維持管理事業 □ 県の制度による義務的事業 □ 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 □ その他の事業 □ 義務化されている協議会等の負担金		
政策	05	市政への直接参加システムの構築					
施策							
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	公職選挙法・選挙執行規定		
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 任期満了による市議会議員一般選挙の執行 ①立候補説明会 ②選挙長、同職務代理人、選挙立会人、投票管理者、同職務代理人、投票立会人の選任。 ③立候補届出受付、諸告示。 ④選挙会			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)			
事務事業の概要				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
			報酬	2,592	役務費	4,871	
			職員手当等	9,385	委託料	4,596	
			賃金	384	使用料及び借用料	362	
			報償費	196	負担金、補助・交付金	12,844	
			需用費	3,176	計	38,406	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	市議会議員一般選挙の執行
24年度活動実績	
25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	有権者
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	不備が無く選挙事務が執行される。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	有権者の投票により市議会議員が選任される。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:選挙人名簿登録者	人	
イ:選出議員数	人	
ウ:		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:選挙人名簿登録者	人	
イ:		
ウ:		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:異議申し立て件	件	
イ:		
ウ:		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:投票率%	%	
イ:		

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円						
人件費	正規職員従事人數 延べ業務時間	人 時間		0 38,406	0 38,406	0 0	0 0	0 0	38,500 0
コスト	人件費計(B) (A)+(B)	千円 千円		7,488 45,894	0 0	0 0	0 0	0 0	7,488 45,988
	活動指標	ア イ ウ	人 人 人	57,246.0 22.0					
	対象指標	ア イ ウ	人 人 人	57,246.0					
	成果指標	ア イ ウ	件 件 件	0.0					
	上位成果指標	ア イ	% %	60.9					

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	法令に基づき実施される。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	効率化・迅速化による執行経費の削減が必要とされている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	なし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	システムの導入や開票作業の見直しにより、人件費の削減と迅速化に取り組んでいる。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	投票用紙分類機の新機種を導入し、正確性と迅速化に努めた。

事務事業名	『H24新規』市議会議員選挙執行事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 法令に基づき選挙の執行管理を行う。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 法令に基づき選挙の執行管理を行う。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 法令に基づき選挙の執行管理を行う。
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 法令に基づき選挙の執行管理を行っている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 法令に基づいて実施している。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 法令に基づいて実施している。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 投開票事務の更なる見直しにより経費の削減が多少望める。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 同上
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 受益者負担はない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後も法令に基づき選挙に関する事を執行する。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(2) 改革・改善による方向性										
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)										
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)										
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)										
<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)											
(2) 改革改善案について	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成 果 水 準</td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	成 果 水 準	コスト水準			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
成 果 水 準	コスト水準										
	削減		維持	増加							
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果										
	成果優先度評価結果										
	コスト削減優先度評価結果										